

(技術士事務所 稲葉 IT ガバナンス研究所 脱炭素 DX モニタリング)

第29号：2026年7月13日（月）～ 2026年7月19日（日）報道分

週刊 脱炭素 DX ニュースウォッチ 2026（日経新聞、朝日新聞、日経 XTech 編）の第 29 号を配信いたします。

記事タイトル行が各紙のオンライン記事へのリンク情報となっています。オンライン記事本文を読むためには、各オンラインサイトへの有料アカウントが必要です。

なお、日経 XT については、記事タイトルに続いて、編集者が生成 AI（ChatGPT）と対話をしながら作成した数行の要約文章を記載しています。

☐ 7/13 (月)

□ 7/14 (火)

☐ 7/15 (水)

□ 7/16 (木)

□ 7/17 (金)

☐ 7/18 (±)

□ 7/19 (日)

先週 1 週間（月～日）の気候変動、脱炭素、再エネについて情報・技術・イノベーション活用関連記事をピックアップした結果について、以下にその全件の記事を時系列で掲載いたします。

*1) タイトル行をクリックすると日経 Xtech の該当記事 URL に移動しますが、記事を読むために日経 XTech の有料アカウントを契約している必要があります。

*2) 各記事のタイトルに続いて、編集者が生成 AI（ChatGPT）と対話しながら作成した数行の要約文章を記載しています。

☐ 7/13 (月)

【7/13・日経】[ビルに日傘効果、室温低下に店舗デザインも一新 膜構造が変える建築 LBS ローカルビジネスサテライト 気候変動に挑む② LBS](#)

【7/13・日経】川崎重工・岩谷など、国内初の高圧水素導管を整備 JFE エンジが建設 資源エネルギー

【7/13・日経】常陽銀行など茨城の6社、持続可能な地域社会に「コンソーシアム」茨城

【7/13・日経】東京ガスとヤンマー系、自家発電設備に水素 2 割混合 性能も担保 資源エネルギー

【7/13・日経】 JERA、サムスン系とアンモニア供給網の構築で協業 カーボンゼロ

【7/13・朝日】 W杯試合数増「環境に最悪」空路移動が負荷、英研究機関

【7/13・朝日】（現場へ！）緑の日傘：1 気温下げる、街路樹の効用

【7/13・朝日】 [ストーリー 命を守る街路樹の緑陰 熱中症防ぎ気温下げる効用に世界の都市が注目](#)

【7/13・日経 XT】 [「蓄電池や洋上風力にも本腰」、損保ジャパンに聞く新エネ向け保険の現状 太陽光は、事業者との適切なリスクシェアを模索 金子憲治 日経 BP 総合研究所](#)

損保ジャパンは、再生可能エネルギー分野向け保険を拡充し、洋上風力発電や系統用蓄電池向け保険に本格的に取り組んでいます。洋上風力では、事業初期からリスク評価や対策を支援する「ONE SOMPO WIND」を展開し、蓄電池併設による火災リスクも含めた包括的な補償を提供しています。系統用蓄電池については、リチウムイオン電池特有の火災リスクを踏まえ、設計や運用状況を事業者との対話を通じて詳細に評価する方針です。一方、太陽光発電向け保険は自然災害やケーブル盗難、設備の経年劣化などで採算が厳しく、免責条件の見直しや防犯対策の強化を通じて事業者との適切なリスクシェアを進め、再エネ市場の持続的な発展を支えていく考えです。

【7/13・日経 XT】 [AIの主戦場は「空間知能」に、資金流入が急増 テクノロジー未来投資指数 岡部 一詩 日経クロステック グロース編集長 野々村 泰香 AI・データラボ](#)

最新の「テクノロジー未来投資指数」では、生成 AI に続く次世代 AI の中核技術として「空間知能」への投資が急拡大しています。空間知能は、ロボットが物体の位置や空間構造、物理法則を理解して行動するための基盤技術であり、フィジカル AI の実現に不可欠とされています。その実現には、3次元再構成技術や SLAM、現実世界を学習して未来を予測する「世界モデル」が重要な役割を果たします。NVIDIA をはじめとする大手企業や有力スタートアップは基盤モデルや合成データ生成技術の開発を加速しており、空間全体を知能化する研究も進展しています。LLM の普及時と同様に巨額の資金流入が技術革新を後押ししており、フィジカル AI 市場の本格的な成長が期待されています。

[目次へ](#)

□ 7/14 (火)

【7/14・日経】 [EV→電力網に充放電 豊田織機が実機検証 供給効率など確認](#)

【7/14・日経】 [中部電、再エネ供給強化 CO2 フリー電力など 5年で60万キロワット以上、中小向け上積み狙う](#)

【7/14・日経】 [徳島で水素エンジンHV公道実証](#)

【7/14・日経】 [「超電導や防災技術などに強み」鉄道総研の芦谷・新理事長](#)

【7/14・日経】 [横浜銀行、サステナ融資強化 中小向けの融資商品開発で裾野拡大 地域金融](#)

【7/14・日経】 [再エネ条例下の青森、陸上風力で初の「知事お墨付き」 手探りの共生策 サーチライト サーチライト](#)

【7/14・日経】 [北海道大学発フロートミール、たんぱく質含む浮草の食用に挑む 北海道](#)

【7/14・日経】 [三菱ふそうのクスマノ新社長「日野自と協業で『規模の経済』活用」 自動車](#)

【7/14・日経】 [レゾナック、廃プラを基礎化学品に再生 中東ナフサ依存脱却の一手に ナフサ高騰](#)

【7/14・日経】 [JERA、地熱発電の米新興クエイズに出資 電磁波で地面を掘削 カーボンゼロ](#)

【7/14・日経】 [コスモHDと日本精工、風車の異常を早期発見 軸受け潤滑油から確認 資源エネルギー](#)

【7/14・日経】 [ドミノ・ピザ、EVトラックを業界初導入 福岡から 外食](#)

【7/14・日経】 [「とれすぎ」クロマグロ、漁獲枠拡大は合意できず 国際会議 商品](#)

【7/14・日経】 [洋上風力の収入保証 3.5倍の70万円上限に 経産省、物価高でこ入れ カーボンゼロ](#)

【7/14・日経】 [浮体式洋上風力、海外展開見据え実証 政府が20基規模の実験を視野 カーボンゼロ](#)

【7/14・日経】 [JR東日本の水素ハイブリッド車、27年度末にも運行 30年から前倒し 物流・運輸](#)

【7/14・朝日】 [（けいざい+）養殖サーモン新時代：上 人気ネタ1位、国産回帰へ](#)

【7/14・朝日】 [アジアの気候から探る、建築の可能性 キュレーターに金野さん ベネチア国際建築展の日本館](#)

【7/14・日経 XT】 [ネイチャーテック開幕、約90の企業・関連団体が最先端技術を披露 真鍋 政彦 日経コンストラクション編集長／日経クロステック副編集長](#)

2026 年 7 月に熊本市で開催された展示会「NATURE TECH！」では、約 90 の企業・大学・自治体などが、衛星センシング、AI、IoT、ブロックチェーンなどを活用した最先端のネイチャーテックを披露しました。背景には、2030 年までに自然の損失を止め回復へ転じることを目指す「昆明・モントリオール生物多様性枠組（GBF）」と、ネイチャーポジティブ経済への世界的な移行があります。自然資本の可視化やリスク予測、保全の高度化を支える技術への投資は拡大しており、新たな成長市場として期待されています。同時開催のグローバル・ネイチャーポジティブ・サミットでは、自然の状態を評価する統一指標「SON」の最終版も発表予定で、ネイチャーテックの普及を後押しする動きとして注目されています。

【7/14・日経 XT】 [量子コンピューター投資が次段階へ、分散化と冷却 実用での課題に焦点 松元 則雄 総合研究所 主任研究員](#)

量子コンピューター分野への投資は、性能競争から実用化を支える基盤技術へと重点が移っています。注目されるのは、計算誤りを補正する「量子誤り訂正（QEC）」、複数の量子コンピューターを接続して処理能力を高める「量子テレポーテーション」、そして超低温環境を効率的に実現する「磁気冷却」です。IBM は誤り耐性を備えた量子コンピューター（FTQC）の実現に向けたロードマップを示し、国内スタートアップも量子中継器の開発を進めています。また、磁気冷却は量子コンピューターの冷却だけでなく、水素液化など脱炭素技術への応用も期待されています。量子技術は基礎研究から実装段階へ移行し、周辺技術への投資が今後の普及と産業化の鍵を握る局面を迎えています。

[目次へ](#)

□ 7/15（水）

【7/15・日経】 [ゲンキ GDC の川上戦略（上） サーモン・イクラ 完全自給 陸上養殖でブランド化](#)

【7/15・日経】 [新潟・妙高に半導体巨額投資 県、GX 推進に期待](#)

【7/15・日経】 [代替たんぱく質源の浮草 北大発新興、食品化に挑む 愛知で栽培・量産実証 道内企業と商品開発](#)

【7/15・日経】 [（社説）製鉄の脱炭素に不退転で挑め](#)

【7/15・日経】 [原子力人材育成で近大が大学連携、実習に他大生参加 北大は講義公開 大学](#)

【7/15・日経】 [洋上風力、収入保証を拡大 経産省、インフレ配慮で上限 3.5 倍 撤退歯止めへ負担軽く](#)

【7/15・日経】 [マレーシア、独自開発の EV 電池を生産開始 国産車メーカーに恩恵 Nikkei Asia](#)

【7/15・日経】 [岡山の銘建工業、製品の集成材を JR 貨物で関東に 車両から一部移管 岡山](#)

【7/15・日経】 [家畜由来バイオメタンを都市ガスに 北海道の帯広ガス、今秋にも販売 北海道](#)

【7/15・日経】 [静岡・ブルーファーム、抹茶を安定供給 企業などに専用の茶園提供 静岡](#)

【7/15・日経】 [葬儀も脱炭素時代、水素で火葬炉・HV の霊きゅう車 富山で開発進む 富山](#)

【7/15・日経】 [木質集合住宅は脱炭素、建設時 CO2 排出量 41%削減 新興の工法 コラム](#)

【7/15・日経】 [「緑の粒々」食用浮草、人類のタンパク源に 北大発スタートアップ挑む LBS ローカルビジネスサテライト 気候変動に挑む③ LBS](#)

【7/15・日経】 [泊原発再稼働、27 年 12 月目標 北海道電力「できるだけ早期」から後退 北海道](#)

【7/15・日経】 [製造業のレアアース調達コスト、直近 1 年で平均 22%上昇 民間調査 サプライチェーン](#)

【7/15・日経】 [三菱商事、米天然ガス開発エーソンの買収完了 総額 1 兆 2000 億円 生活・日用品](#)

【7/15・日経】 [電力先物、取引の短期シフト鮮明 地政学リスクで長期は停滞 グローバルマーケット](#)

【7/15・日経】 [GX 推進機構、スタートアップ支援や人材育成で東京科学大と協定 経済](#)

【7/15・日経】 [電力 8 社がデータセンター送電網増強 全国 30 カ所、AI 需要見据え先手 資源エネルギー](#)

【7/15・日経】 [第 2 のペロブスカイト「OPV」、アジア初量産へ 繊維商社 GSI クレオス カーボンゼロ](#)

【7/15・日経】 [愛媛西条市にバイオ燃料工場、木の皮から固形燃料 熊谷組など 愛媛](#)

【7/15・日経】 [大阪府、サステナ低利融資制度を開始 8 金融機関が参画 関西](#)

[【7/15・日経】北海道大、洋上風力の人材育成カリキュラム 北洋銀・北海道電が協力 北海道](#)
[【7/15・日経】日本製鉄、1 トンあたり利益世界首位 構造改革で過剰生産の中国かわす 業績・財務ニュース](#)
[【7/15・日経】自然回復の民間国際会議「熊本宣言」採択 開示指標の手引は宿題に SDGs](#)
[【7/15・朝日】第 3 回森林伐採跡の湿地化はなぜいい？ 企業の自然再生に大切なストーリー](#)
[【7/15・朝日】現場から 月まで広がる大宇宙時代 米国シアトルを「宇宙都市」にした強みとは](#)
[【7/15・朝日】ニューヨーク大キャンパスの東京誘致、検討へ 小池知事が NY で合意](#)
[【7/15・朝日】ストーリー 倒木相次ぎけが人、5 千本を緊急点検 適切な管理や伐採の基準は](#)
[【7/15・日経 XT】定量評価の指標開発「自然の状態」測る国際指標が 26 年決定へ、グリーンインフラの効果を可視化 星野 拓美 日経クロステック／日経コンストラクション記者](#)

ネイチャーポジティブの実現に向け、自然の状態を定量評価する国際指標「SON（State of Nature）」が 2026 年中に正式決定される見通しです。SON は生態系の範囲や状態、種の絶滅リスク、個体数の 4 項目で自然を評価し、TNFD など自然関連情報開示の国際基準への採用も予定されています。これにより企業や投資家が取り組みを比較・評価しやすくなり、グリーンインフラ整備の効果も可視化されることが期待されます。一方、日本では環境省が二次的自然を適切に評価できる独自手法を開発中で、大成建設も建設前後の生物多様性の変化を定量化する評価手法を公開するなど、国内でも自然資本の見える化に向けた取り組みが加速しています。

[【7/15・日経 XT】IGZO 活用の「酸化物 DRAM」に高期待、低消費電力で高性能 2030 年代実用化へ 大下 淳一 日経クロステック副編集長 坂本 曜平 日経クロステック記者](#)

「テクノロジー未来投資指数」では、次世代半導体「酸化物 DRAM」が有望技術として注目されています。酸化物半導体 IGZO を用いることで、従来のシリコン DRAM より大容量・高速・低消費電力を実現でき、AI サーバーやスマートフォンの性能向上に貢献すると期待されています。Samsung Electronics や SK hynix、TSMC、キオクシアなどが 2030 年代の実用化を目指して開発を進めており、日本は IGZO の基礎研究で重要な役割を果たしています。記事では併せて、CO2 を燃料や化学原料へ変換する「プラズマ CO2 変換」や、微生物を活用して低品位鉱石や電子廃棄物から金属を回収する「バイオリッチング」も紹介され、脱炭素と資源循環を支える有望技術として期待が高まっていることを伝えています。

[【7/15・日経 XT】企業も注目する水循環、3D の可視化システムで影響の定量評価を支援 久富 早織 日経クロステック／日経コンピュータ記者](#)

地圏環境テクノロジーは、展示会「NATURE TECH！」で統合型地圏水循環シミュレーションシステム「GETFLOWS」を紹介しました。地形や地質、気象、土地利用などのデータを基に、水の流れを 3D で可視化し、表層水と地下水を一体的に解析できることが特徴です。工場排水や森林伐採、植林、太陽光発電設備の設置などが地域の水循環へ与える影響を定量的に評価でき、気候変動による異常気象の影響分析にも対応します。近年は TNFD 対応を背景に企業からの利用が増加しており、自然関連リスクの把握や情報開示に加え、環境改善効果を客観的に示すツールとしても期待されています。

[目次へ](#)

□ 7/16（木）

[【7/16・日経】集成材、JR 貨物で関東へ 岡山の銘建工業 モーダルシフト推進 運転手不足に対応 企業イメージ向上も](#)
[【7/16・日経】廃棄木皮でバイオ燃料 愛媛・西条の工場竣工](#)
[【7/16・日経】中国、消費不振に拍車 4～6 月 4.3%成長に減速 中東産の資源高響く](#)
[【7/16・日経】東電など 8 社、データ拠点向け送電増強 全国 30 カ所整備 需要予測上回るペース](#)
[【7/16・日経】NEC、取引先の CO2 排出量算定で新手法 実績値を活用し正確性向上 情報通信・ネット](#)

- 【7/16・日経】 [いすゞ、ゴミ収集車で EV 電池「交換式」探る 充電時間不要に 自動車](#)
- 【7/16・日経】 [大塚 HD、北海道に蓄電池システムを導入 グループで初 医薬品・医療介護](#)
- 【7/16・日経】 [JAL、宮崎県で廃食用油回収 再生航空燃料に活用し CO2 削減 カーボンゼロ](#)
- 【7/16・日経】 [雪印メグミルク、酪農学園と J-クレジットで協定 森林維持へ 北海道](#)
- 【7/16・朝日】 [現場から 第 1 回墓地の裏に巨大データセンター 建設続く米バージニア「世界の首都」](#)
- 【7/16・朝日】 [ネイチャーポジティブのサミット閉幕、「熊本宣言」で企業の行動促す](#)
- 【7/16・朝日】 [熱中症予防に「涼みの駅」181 カ所 全国表彰続く山口・周南](#)
- 【7/16・朝日】 [海水の C O 2、効率よく集め温暖化対策 三菱電機、フィンランドの機関と技術開発](#)
- 【7/16・日経 XT】 [地域の体制づくり AI 半導体やデータセンターの水養う、ネイチャーポジティブは地域単位で 星野拓美 日経クロステック／日経コンストラクション記者](#)

AI 半導体やデータセンターの集積が進む熊本県や千葉県では、水資源や生態系を維持するため、地域単位でネイチャーポジティブを推進する産官学の間支援組織が設立されています。熊本では、TSMC など半導体工場による大量の水利用を背景に「熊本ウォーターポジティブ・デザインセンター」が発足し、雨庭整備による地下水涵養効果を認証・クレジット化する仕組みづくりを進めています。千葉の印西市・白井市では、データセンター開発と里山保全の両立を目指す「ランドスケープ・マネジメント・センター」が始動しました。いずれも地下水や流域といった生態系の連続性を単位に、自然資本の保全効果を定量評価し、地域循環型のネイチャーポジティブ経済の構築を目指しています。

- 【7/16・日経 XT】 [沈下を続ける関空の独自工事、滑走路かさ上げ 建物支える 1000 本の柱の延伸 関西国際空港、民営化 10 年の曲折 \(3\) 氏家 加奈子 ライター](#)

関西国際空港では、軟弱地盤による沈下が 2060 年頃まで続く見込まれ、空港機能を維持するため独自の対策工事が継続されています。気候変動による海面上昇や高潮リスクを踏まえ、護岸のかさ上げに加え、航空法への適合を保つため滑走路も最大 50cm かさ上げしました。また、不同沈下による建物のゆがみを補正するため、第 1 ターミナルを含む 30 棟超、1000 本以上の柱を定期的にジャッキアップしています。30 年に及ぶ工事で柱は最大約 1m 延伸し、壁や配管、扉など付帯設備の改修も増加しています。沈下と気候変動に対応しながら空港を維持する、世界でも例の少ない継続的なインフラ保全が進められています。

[目次へ](#)

□ 7/17 (金)

- 【7/17・日経】 [系統用蓄電所事業に参入 藤巻建設 長野に 2 カ所開設へ](#)
- 【7/17・日経】 [富山で進む葬儀の脱炭素 水素燃料の火葬炉/HV 霊きゅう車 需要増・環境配慮に対応](#)
- 【7/17・日経】 [〈Leader's Voice〉大型電炉、技術開発に時間 神戸製鋼所 勝川四志彦社長](#)
- 【7/17・日経】 [住友電工、蓄電池の生産能力 5 倍 再エネの需給調整](#)
- 【7/17・日経】 [多様なエネルギー不可欠 タイで日経アジアフォーラム 車、脱炭素ニーズ強まる](#)
- 【7/17・日経】 [ナフサ不足で石化競争力あらわ 中国、代替原料で生産維持 対アジア「デフレ輸出」続く](#)
- 【7/17・日経】 [NY の空オレンジに染まる 正体はカナダ山火事の煙、23 年以來の汚染 災害・気象](#)
- 【7/17・日経】 [英新電力大手ジャクソン CEO「日本の電力販売、顧客対応に改善余地」 Leader's Voice](#)
- 【7/17・日経】 [建設分野の法律・契約の研究団体、日本 SCL が始動 瀬川 奈都子](#)
- 【7/17・日経】 [米シェブロン、イラク産原油のパイプライン検討 ホルムズ代替ルート 資源エネルギー](#)
- 【7/17・日経】 [原発建て替えに公的融資、送電網投資も 改正電気事業法が成立 経済](#)
- 【7/17・日経】 [川崎重工が推す水素→ナフサ生産 戦前から続く代替技術の宿命に挑む 資源エネルギー](#)
- 【7/17・日経】 [建築向けにガラス再利用 セントラル硝子系](#)

【7/17・日経】 [NYの空、オレンジ色に カナダ山火事の煙影響](#)
【7/17・日経】 [豪州版シェールガス 9月稼働 日本への輸出視野、中東危機で引き合い 南西ア・オセアニア](#)
【7/17・日経】 [M&Aで技術革新、国内競争阻害でも容認 公取委が指針改定案 経済](#)
【7/17・日経】 [東北電力と倉元製作所、ペロブスカイト太陽電池の性能評価で連携 ペロブスカイト太陽電池](#)
【7/17・日経】 [九州電力、川内原発の火災対策見直し申請 乾式貯蔵施設設置めぐり 鹿児島](#)
【7/17・日経】 [ENEOS、合成ガソリンを初輸入 26年度中にドイツから カーボンゼロ](#)
【7/17・日経】 [アジア LNG が4カ月ぶり高値、20ドル超え ホルムズ再封鎖で供給懸念 グローバルマーケット](#)
【7/17・朝日】 [原発建て替えに公的融資 参院委可決 民間の融資を補完](#)
【7/17・朝日】 [「火が迫ってる！」 山火事にあった移住者、感じた恐怖と伝える決意](#)
【7/17・朝日】 [EU、排出量取引制度を抜本見直し 削減ペース緩め産業界に「猶予」](#)
【7/17・日経 XT】 [シュナイダーが「脱ハード」宣言、プロセス産業向け SDA を披露 第4部：シュナイダーの戦略 木暮 早希 日経クロステック／日経ものづくり記者](#)

シュナイダーエレクトリックは、工場制御をハードウェア中心からソフトウェア中心へ移行する「Software Defined Automation (SDA)」戦略を加速し、化学や食品などのプロセス産業向け新製品「EcoStruxure Foxboro SDA」を発表しました。既存設備を生かしながら段階的に導入でき、ベンダーに依存しない柔軟なシステム構築や AI との連携、設備変更の効率化を実現します。さらに、製造制御とエネルギー管理を統合し、電力需給に応じて生産を最適化することで、省エネルギーと運用効率の両立を目指します。一方で、安全規格への適合や標準化、既存設備更新の負担などが普及への課題であり、同社はソフトウェアを新たな価値創出の中核に据え、オープンなエコシステムの構築を推進していく考えです。

【7/17・日経 XT】 [ペロブスカイト太陽電池の導入を促進、設置・面積測定方法の見直しへ 木下 順平 日経クロステック／日経アーキテクチャ記者](#)

政府は、2040年までに20GW導入を目指すペロブスカイト太陽電池の普及を後押しするため、規制改革推進会議の答申を受けて設置方法や面積測定、法令上の位置付けの見直しを進めます。軽量・柔軟という特長を生かせるよう、危険物施設向けガイドラインの見直しを検討するほか、壁面設置時の面積を実態に即して評価できる測定方法の導入を求めました。また、建材一体型太陽電池（BIPV）については、建築基準法と電気事業法の適用関係や設計荷重の算定方法を明確化し、事業者の判断のばらつきを解消する方針です。制度面の課題を解消することで、建築物への次世代太陽電池の導入拡大を加速させる狙いがあります。

【7/17・日経 XT】 [メガソーラー訴訟、住民が逆転勝訴 奈良県は「評価」も事業者が上告 安藤 剛 日経クロステック／日経コンストラクション記者](#)

大阪高裁は、奈良県平群町で建設中のメガソーラー開発を巡り、奈良県の林地開発許可を取り消すよう命じ、住民側が逆転勝訴しました。争点は洪水調整池の必要容量で、高裁は県が降雨継続時間を10時間とする従来基準を採用した判断を不合理とし、近年の豪雨実態を踏まえ24時間を前提とすべきと指摘しました。奈良県は判決を「説得力がある」と評価して上告を見送りましたが、事業者は上告しています。本判決は、気候変動による降雨特性の変化を踏まえ、治水分野で自治体に従来の運用にとらわれない科学的・合理的な判断を求めた重要な司法判断として注目されています。

【7/17・日経 XT】 [再エネ生かしてデータセンター誘致、「三方良し」の石狩モデル 木下 順平 日経クロステック／日経アーキテクチャ記者](#)

北海道石狩市は、再生可能エネルギー100%での電力供給を目指す「REゾーン」を整備し、データセンター誘致を進めています。東急不動産の「石狩再エネデータセンター第1号」は、自営線によるオンサイトPPAと実質再エネ電力を組み

[目次へ](#)

目次へ

[目次へ](#)

□ □